

★★ 私のプロジェクト“X” ★★ (土木行政とボランティア活動)

福岡県 飯塚県土整備事務所 道路建設課

国道建設係 技師 こが げんき 古賀 玄葵

《はじめに》

私は『公益社団法人 福岡県青少年育成県民会議』が主催する、サマーキャンプのボランティア活動を行っている。このボランティアの経験を今後の県職員生活（土木行政）に活かし、かつ地域貢献していきたいと考えている。

《第1章 つなぎ育てる青少年！》

私は小学6年生から中学3年生の4年間、このキャンプに参加した。この活動のスローガンは『小・中・高・大学生等をつなぎ育てる野外学習』である。

先輩ボランティア・スタッフの方々に教わった自立性、協調性、忍耐力を、今度が自分が小・中学生につなぎ育てたいと思い、このキャンプのボランティアに参加し今年で3年目になる。

キャンプでは、参加者（小5から中3まで）約70名と、高校生以上のボランティア・スタッフ（以下スタッフ）約30名の計100名程で4泊5日間活動する。参加者は7名を1班として行動をする。主に野外調理、登山、沢登りなど日常ではできない体験を通して健全育成を行っている。



写真：野外学習の状況

《第2章 意思の伝達》

スタッフ（私達）は1日が終わると就寝前に会議をし、種々の視点で意見を出し合い議論する。例えば、1日の反省点、明日のプログラムなどである。反省点をどう改善するか、熱中症予防に水分をこまめにとることなど、まずはスタッフで討議する。

スタッフで討議したことはスタッフ会議後、班員に伝え、それに対する自由な意見を出してもらう。そうすることで、スタッフ・参加者の意思統一が図られ一つになれる。“言える化”である。

ちなみに、私は中学生の時、このキャンプで高校生の子に“告白”し、年上の彼女ができたことがある。まさに“言える化”の集大成である。(笑) 職場でも“言える化”は非常に重要である。

《第3章 合意形成》

翌日、前日に討議で出た反省点を改善すべく活動を行う。例えば、野外調理時に遊んでいる子がいる場合、具体的に分かりやすく注意する。時には叱ることもある。泣く子もいるが、自分がなぜ叱られているのか、また自分がどんな役割を果たさなくてはならないかを具体的な事例をもって考えさせる。“見える化”である。

勿論、子供達もそれぞれ具体的に意見を言う。そうすることで、全体で役割を再確認し班行動を理解する。協力し、意見し、反省し、より良いキャンプを作り上げていく。子供達は少しずつ成長し、思い出だけでなく自立性、協調性、忍耐力などを身につける。子供達だけではない。私たちスタッフ自身も成長できる。子供達から教えてもらうのだ。

キャンプ終了後は、参加者の保護者も交えた報告会を行う。その際、自分の子供がキャンプに入ってからとても成長したと感謝されたことがある。“やってよかった！”“そう思える瞬間である。

公共事業の合意形成においても非常に似たところがある。

《第4章 創意工夫と効率化》

野外調理が終わり、食事を終えた後、調理器具の片付けを行う。これがまた難関である。調理の際、炭を使うので調理器具について黒ずみがなかなか取れない。スタッフはそれを知っている。調理時点でどう工夫したら早く調理でき、どの様に洗ったら綺麗に取れるのかも知っている。

例えば、火が通りにくい野菜は小さく切ることや、調理の下準備を早めに行うなどをして調理をスムーズに行う。また、片付ける時は調理の際に使用した炭で釜を洗うと綺麗に取れる。などなど・・・キャンプならではの知恵を使う。知識と経験を活かすことで業務を効率化し予定通りの時間に任務を完了(帰る)する。“帰る化”である。

効率よく業務をこなし、できる限り早く仕事を終わらせ、アフター5を充実させる“帰る化”もまた非常に重要である。(職場で言えば飲み会、野球、駅伝、健康管理等といったところか)



集合写真：私の担当のグループ

《第5章 まとめ》

私の“プロジェクトX”などと、たいそうなタイトルをつけ述べてきたが、勤続1年にも満たない私にプロジェクトXと呼べるほどの技術も経験もない。しかし、土木行政もボランティアも同じく、皆で議論し、合意形成を図りながら一体とな

って一つのプロジェクトを完成させるものである。これまでボランティアで養った精神が土木行政の中できつと役に立つと思っている。

しかも、私がこれまでボランティアで培ってきた3つのポイント “見える化”、“言える化”、“帰る化”は、偶然にも“私の係の目標、でもある。(すみません！こじつけました！)

私はまだ20歳と若いですが、未熟なりにもこのボランティアで培った精神と根性と明るさで、これから遭遇するであろう“本当のプロジェクトX”を乗り越え、福岡県の土木行政を盛り上げていきたい。(偉そうなこと言ってますみません・・・)

《第6章 あとがき》

飯塚県土古賀玄葵（こがげんき）です！
平成28年度の新規採用者で、
8月15日お盆生まれの20歳です。
どうか、よろしく願いいたします！